



太陽の子保育園 2022年10月号

暑さがようやく落ち着き、朝夕は涼しくなりました。過ごしやすい季節になりましたね。それでも10月は、気温差が大きくなりますから衣服調節が体調管理の大きなポイントになります。

秋は、おいしい食べ物がたくさんとれる上に、涼しくなって食欲が増すので「食欲の秋」ともいわれます。いろいろなものをしっかり食べて、運動会に向けて丈夫な体を作りましょう。

大切な目「あれ？」と思ったら…

1カ月



明るいほうを見る

生まれてすぐはほとんど目が見えず、生後3カ月で0.01程度。その後、徐々に発達し、6歳ごろに成人と同じ視力になると言われています。

でも、さまざまな理由で左右差が出たり、視力の発達が遅れたりする場合があります。

3歳



1.0 (67%)

6歳



1.0以上

こんな症状があれば眼科受診を

- ・顔を傾けて見る
- ・目を細めて見る
- ・黒目の位置がおかしい
- ・片目をつぶって見る



お子さんは自分の見え方に違和感があることに気づけません。おうちの方の「あれ？」という気づきが、とても大切なのです。

♪らいおん組さん、手洗い練習中です♪



らいおん組さんは、正しく手が洗えるようになるために、手洗いの歌を歌いながら、手を洗う練習をしています。歌に合わせて手を洗うと、洗い残しなく手が洗えます。毎日、元気よく歌いながら洗っています。練習の後は、よくできましたのシールを1枚もらえます。

シールは、恐竜、昆虫、乗り物、食べ物、デザート、動物、惑星の7シート。1シートに24種類のシールが並んでいます。

直径16mmほどの丸いシール。一番人気は恐竜です。「アバトサウルス」「メトリオリックス」「オルニトレステス」・・・リアルな名前の恐竜のシールです。子どもたちは、そんな恐竜の名前を結構知っています。真剣なまなざしで、自分の一枚を選びに選んでいます。

シールを5枚もらえたら、手洗い先生です。らいおん組さんの子が手洗い先生になったら、今度は、らいおん組さんの子が、ぱんだ組の子に手洗い指導をする予定です♪



液体芳香の誤飲注意



ボトルに入った液体芳香剤を木製などの棒で吸い上げる「リードディフューザー」家庭で香りを楽しむインテリアとして人気ですが、液体芳香剤の多くはエタノールや炭化水素類を含みます。これらの成分は、粘膜の刺激作用などを持ち、飲むと嘔吐や意識障害を生じる危険性があります。

目に入れば痛みや充血、皮膚に付着すれば、かぶれの原因にもなります。

2020年には、1歳の男児がトイレに置かれた製品を飲み、化学性肺炎になる事故が発生しました。嘔吐や40°Cの発熱の他、肺の一部に空洞が確認され、約2週間入院したということでした。

もしも誤飲したら

- ・吐かせないようにしましょう。(液体が気管に入り、化学性肺炎になる恐れが、)
- ・医療機関や子ども医療電話相談「#8000」などに相談しましょう。
- ・誤飲した製品を持参して受診しましょう。



しけんせん



題字と手書きのイラストは、らいおん組さんにかいてもらいました。

衣替えは、いつ始まった？

肌寒い日が多くなってきました。慌てて衣替えをして、冬服を出した人もいるかもしれませんね。

さて、ここでクイズです。

衣替えはいつ始まった風習でしょうか？

- ① 石器時代
- ② 平安時代
- ③ 明治時代



答えは、②の平安時代。

衣替えは平安時代に中国から伝わった風習で、貴族たちが年に2回、夏装束と冬装束を入れ替える宮中行事として始まりました。

ちなみに、江戸時代の衣替えは年4回あったのだとか。その後、明治時代に洋服が普及し、役所や学校で夏と冬の制服を入れ替えるようになり、それが日本中に広がりました。

現代はさまざまな素材の服があり、細かい調節も簡単にできます。衣替えであたたかい服を出したら、うまく調節して、カゼなどひかないようにしましょう。

